

サマーセミナー2015報告

野村 安國¹⁾, 東海 彰吾²⁾, 藤原 孝幸³⁾,

1) 東京ウェルズ 2) 福井大学 3) 北海道情報大学

2015年度のサマーセミナーは、8月24日～25日の2日間、静岡県熱川 熱川温泉の【熱川ハイツ】にて開催された。若葉研究会の発表は22件、チュートリアルセッションでは1件の特別講演をお願いした。参加者数は企業11名、大学教員14名、学生25名の合計50名であった。

1. はじめに

第24回目となるサマーセミナーは、静岡県熱川 熱川温泉の【熱川ハイツ】において8月24日、25日の2日間にわたり合宿形式で開催された。映像情報メディア学会メディア工学研究会との共催は、2004年以来、今回で12回目となる。

サマーセミナーの主目的は、学生や企業の若手研究者など若葉研究者に研究発表の場を提供すること、若葉研究者と研究指導者(企業研究者や大学教員)との交流の場を与えること、両学会の研究室学生諸君、研究者同士の交流を図ることである。

2. 開催準備と実施形態

2014年12月から企画を開始し、両学会で検討を重ねた。共催となってからは両組織が交代で主担当となっており、今回は画像応用技術専門委員会が中心となって開催した。以下に示す企画委員会を設置し、野村企画委員長のもと、東海幹事(メディア工学研究会)、藤原幹事(画像応用技術専門委員会)が中心となって準備を行った。構成は以下の通り(敬称略)。

画像応用技術専門委員会側

- ・野村 安國(東京ウェルズ, 企画委員長)
- ・藤原 孝幸(北海道情報大学, 幹事)
- ・糊澤 信(旭硝子)
- ・清水 毅(山梨大学)
- ・舟橋 琢磨(中京大学)

メディア工学研究会側

- ・東海 彰吾(福井大, 幹事)
- ・皆我 麻佐子(龍谷大)
- ・入部 百合絵(愛知県立大)

サマーセミナーでは、若葉研究会での優秀な発表者に表彰が贈られる。優秀発表賞については、以下の11名で構成される優秀発表賞 審査委員会を設置して審査を行った。例年と同様、審査委員会のメンバーがすべての発表を聴講することで公正かつ平等な審査を行った。

優秀発表賞審査委員会(敬称略)

代表会委員

- ・野村 安國(東京ウェルズ, 2015 企画委員長)
- ・梅田 和昇
(中央大学, 画像応用技術専門委員会委員長)
- ・村上 和人
(愛知県立大学 メディア工学研究会委員長)
- ・東海 彰吾(福井大, 2015 幹事(書記))

審査委員(敬称略, 50音順)

- ・青木 公也(中京大学)
- ・奥平 雅士(東京都市大学)
- ・糊澤 信(旭硝子)
- ・興水 大和
(中京大学, 画像応用技術専門委員会 顧問)
- ・福間 慎治(福井大学)
- ・山口 新(ヴィスコ・テクノロジーズ)
- ・山本 和彦(岐阜大学 名誉教授)

3. サマーセミナー報告

3.1 参加者数と開催状況

参加者数は企業11名、大学教員14名、学生25名の合計50名(男性45名、女性5名)であった。御協力頂いた関係各位に感謝申し上げたい。会場は大会議場を使用した。座席を詰めた事で発表者と会場の距離感が近かった事も好影響し、リラックスした雰囲気で行進しつつも、学生からも熱心な質疑応答が行われ盛り上がる場面も多々あった。

3.2 若葉研究会

学生発表は若葉研究会 22件であり、リラックスした雰囲気でありながら活発な議論となり、どの発表でも質問が多く積極的な情報交換が行われた。座長は、清水 毅氏(山梨大学)、入部 百合絵氏(愛知県立大学)、舟橋 琢磨氏(中京大学)、東海 彰吾氏(福井大学)、森野 比佐夫氏(株式会社ファースト)をお願いした。

サマーセミナーでは、大学の先生方勿論、企業、学生というさまざまな立場からの質問・コメントが多く、今回は積極的な議論がなかなか途切れず、コントロールも難しかったと思いますが、セッションを非常に円滑に進行して頂いた座長各位に感謝したい。

3.3 チュートリアルセッション

今年度は「実用分野を切り拓き、価値を生み出すビジョン技術」というテーマのもと、1名の講師に特別講演をお願いした。2日目の若葉研究発表後に、渋谷久恵氏(日立製作所)に「パターン認識技術の応用展開 ー外観検査から予防保全へー」と題して、企業の最前線で画像処理研究されて来られた渋谷氏から、パターン認識技術の応用展開として2つの異なる分野での研究開発について講演して頂いた。①半導体ウエハあるいはFPD(Flat Panel Display)の外観検査において、外観検査で得られる位置情報や画像情報を

もとに欠陥を分類する技術と、②設備の予防保全、特に状態監視保全を実現する保守サービスにおいて、複数のセンサ信号に基づく異常予兆検知と検知した異常の関連センサ特定技術という、企業最前線での生きた研究開発に触れる事が出来、若葉諸君だけでなく大学教員・企業研究者にとっても大変貴重な講演であった。お忙しい中ご講演頂いた渋谷氏にはこの場を借りて心より感謝申し上げます。なお、座長は、曾我麻佐子氏(龍谷大)にお願いした。

3.4 最優秀発表賞

今回の発表は、どの発表もレベルが高く、審査員を大いに悩ませた結果、以下の3名の受賞者に賞状とカップが贈呈された(図1)。優秀発表賞のカップは持ち回りで、次回のサマーセミナーまで受賞者の研究室に飾られる。研究の励みになることを期待する。

優秀発表賞受賞者(発表順、敬称略)

伊藤 秀哉氏(東北大学)

北村 友香氏(中京大学)

生駒 晃大氏(岐阜大学)

なお次点は武井 翔一氏(中京大学)、平館 睦基氏(東北大学)でオーナブルメンションとして紹介された。

3.5 懇親会

入浴後、大広間【松竹】にて夕食をとり、その後、大会議室にて懇親会を行った。親密な雰囲気の中、世代を超えたタテの交流、同世代のヨコの交流が行われた。参加者の手土産により潤沢な飲み物・各地名産の食べ物がそろい、最近では恒例となってきた手土産の紹介等もあり、大いに盛り上がった。その後、客室にて有志参加の2次会が行われ、例年通り、ある部屋では深夜まで教員・企業人・学生の枠を超えた歓談が行われた。

4. おわりに

今年度のサマーセミナーも、和やかな雰囲気のうちは無事終了した。図2は、展望テラスにて撮影した集合写真である。

サマーセミナー2015の準備にあたり、会場設営・運営補助にあたった山梨大学 清水研究室の学生アルバイト各位、料金設定や会場準備その他でご配慮いただいた【熱川ハイツ】の皆様には心より御礼申し上げます。また、お世話になった皆様に全員に、紙面を借りて感謝の意を表したい。



図1 優秀発表賞受賞者から喜びの声

今回のサマーセミナーは、メディア工学会が中心となって開催する。東海彰吾企画委員長(福井大学)を中心に企画を行い、2016年夏開催する予定である。

謝辞

最後に、アドコム・メディア油井様より寄付をいただきました。ここに感謝の意を示します。



図2 サマーセミナー2015参加者集合写真(2015年8月25日熱川ハイツにて)